

第11回医薬品セキュリティ研究会フォーラム

『 ネット社会におけるオークション・SNS等の 偽造品/模倣品の脅威と対策 』

2023.8.25 [FRI]

13:00-17:05

※受付開始時間 12:40

きゅりあん（品川区立総合区民会館）5階 第2講習室

東京都品川区東大井5-18-1

主 催：一般社団法人 医薬品セキュリティ研究会

- 参加方法：下記よりお選びいただけます
 - ・ 会 場：きゅりあん 第2講習室（定員30名/先着順）
 - ・ WEB：ライブ配信によるオンライン参加（定員制限なし）
- 定 員：（会場）30名（先着順）※定員に達し次第WEB参加とさせていただきます
- 参加費：会 員： 8,000円 /人
非会員：13,000円 /人
学 生： 無料
- お申し込み方法：本フォーラムへの参加は事前登録が必要となります。
下記手順で、当会ホームページより「申し込みフォーマット」をダウンロードの上、
必要事項を御記入頂き、下記「第11回参加受付」のアドレスにご送信下さい。
登録完了となり次第、登録完了メールを送信させていただきます。



※ 感染状況等によっては、開催の中止またはWEBのみの開催となる場合がございますので予めご了承下さい。

■ 一般社団法人 医薬品セキュリティ研究会 フォーラム事務局

（フォーラムに関する問い合わせ先）

E-mail : info@secure-design.jp

URL. http://www.secure-design.jp/

■ 後 援：金沢大学医薬保健研究域附属AIホスピタル・マクロシグナルダイナミクス研究開発センター

第11回 [2023] フォーラム開催に向けて

2023年の第11回医薬品セキュリティ研究会のフォーラムは、「ネット社会におけるオークション・SNS等の偽造品/模倣品の脅威と対策」と題して、その被害状況、監視実態と対策について、関係のみなさんご経験や英知の共有を図りたいと思います。

日本で医薬部外品や健康食品、日用品の模倣品のメディア報道が目立った1年でした。毎年、医薬品、医療機器では国際刑事警察機構（INTERPOL）主催のパンゲア作戦で違法なウェブサイトが数千件閉鎖されていますが、翌年にはそれを上回る数のウェブサイトを開鎖しなければならぬ状況も続いています。これに対抗する防止活動や判別技術には、日々の地道な監視にはじまり、模様、インキ、ホログラムなどに高度な新技術を導入し、クラウド、ICタグ、ブロックチェーンなどの仕組みも活用されています。ECやSNS、インターネットなど、ネット社会を支えるこれらツールが、守る方にも、攻める方にも利活用されています。オリジナルの製造者が偽造、模倣に対するハードルを上げる一方で、侵入者は、疑念を抱かれない安易な入手方法を提供し消費者に忍び寄っています。

世界ではCOVID-19の検査キット、治療薬、ワクチンの偽造品の押収がまだまだ続いている一方で、COVID-19以外の通常の医薬品・医療機器の偽造品も多数押収されています。

一般社団法人医薬品セキュリティ研究会が発足した2013年9月当時、誰がこのような高度な偽造品、模倣品時代の到来を予測したでしょう。この状況を踏まえ、医薬品セキュリティ研究会も医薬品に留まらず、今後関連するより広い分野の偽造対策、模倣対策に目を向け、効率的効果的な偽造品・模倣品撲滅に資していきたいと思えます。日本及び世界で流通する偽造品・模倣品の蔓延情報、対策・体制、防止技術などを公的セクター、製薬、物流、技術開発の各企業、アカデミアが、オープンな議論を通じ情報交換、意見交換を図り、ニーズとシーズの出会いの場を提供することにより医薬品や関連品の偽造・模倣に対抗する研究開発の進展に貢献することが、医薬品セキュリティ研究会の基本的任務です。

偽造医薬品や低品質医薬品が出回る社会では「SDGs（持続可能な開発目標）3.8」が求める安全で効果的、高品質で安価な必須医薬品やワクチンへのアクセスは達成できません。度重なる偽造品の出現は「ESG（環境、社会、ガバナンス）」の観点で配慮ができてきているといえるでしょうか？医薬品セキュリティ研究会をご活用いただき、偽造品、模倣品にともに立ち向かうではありませんか。

ご好評のオンライン開催とともに、会場での直接参加も併設しますので、本研究会に対して積極的なご参加・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人 医薬品セキュリティ研究会
代表理事 木村 和子

PROGRAM

13:00~13:10

開会の挨拶

木村 和子 / 一般社団法人 医薬品セキュリティ研究会 代表理事

13:10~13:30

講演 1 『ネット社会における医薬品を取り巻く話題』

吉田 直子 / 金沢大学 医薬保健研究域附属AIホスピタル・マクロシグナルダイナミクス研究開発センター 助教
一般社団法人 医薬品セキュリティ研究会 理事

13:30~14:05

講演 2 『東京都における無承認無許可医薬品/偽造医薬品対策について（ハーボニー配合錠偽造薬事件も含めて）』

渡辺 大介 / 東京都 保健医療局健康安全部 薬事監視担当課長

14:05~14:40

講演 3 『ECサイトによる模倣品販売の対策事例について』

春日 慎也 / ロート製薬株式会社 知財・ライセンス戦略部 部長

14:40~14:50

質疑応答

14:50~15:00

休憩

15:00~15:35

講演 4 『機能性を有する食品の偽造品について』

秋山 芳広 / 大塚製薬株式会社 信頼性保証本部 総括製造販売責任者

15:35~16:10

講演 5 『不正流通抑止、偽造対策、トレーサビリティ提供のシステムについて

— 個品管理・人工物メトリクス技術（SAMP）との連携ソリューションの紹介—

榎野 高弘 / 小林クリエイト株式会社 地域戦略事業部 営業推進部 流通企画課 課長代理

16:10~16:45

講演 6 『ブランド模倣対策のご紹介』

高木 俊明 / パナソニックIPマネジメント株式会社 商標・意匠部 ブランド課 課長

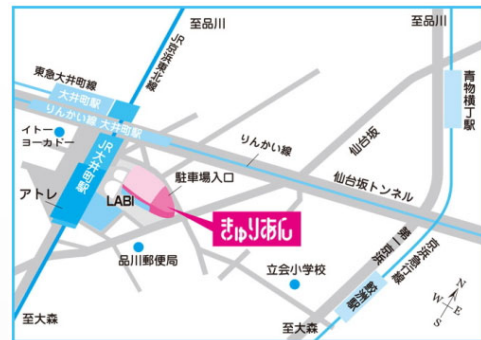
16:45~16:55

質疑応答

16:55~17:05

閉会の挨拶

牧野 智成 / 一般社団法人 医薬品セキュリティ研究会 理事



きゅりあん 第2講習室 (5階)
東京都品川区東大井5-18-1